



5月は児童
福祉月間

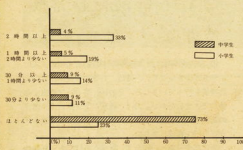
少ない心のふれあい
遊びから多くを学ぶ

彼等とも五月くらいに上野公園の外に出たが、特に妨がらずに遊んでゐるものもあつてもよいと思ふ。ということに気が付いたが、それは多いと思ふ。
 つまづ、子供の成長の過程で、遊びは本能のもののあり、自由になんて大人へを問はず創造性を育て、社会生活の連帯感やルールを知り、新しい体験をする、自然教養もまたこのことです。
 古くは生かす子供の日であり、今は児童遊園社日間でもあります。この機会に子供達遊びという時間を
 をみんなで考えていきたいと思います。

をみんなで考えてみたいものです

子供をしあわせに

学校からかえって友達と遊ぶ時間



多く使っている遊び場

	海・山・川 はらっぱ	中学生 16% 小学生 20%
	公園 遊園地	中学生 4% 小学生 12%
	道 路	中学生 7% 小学生 8%
	家の中	中学生 38% 小学生 35%
	学 校	中学生 17% 小学生 13%
	デパート等	中学生 18% 小学生 12%

不足する公園・遊園地

「みどりの広場」を促進

ひの國ながら、海山川やある、同時に市街中部の
はらへは平均八八あり、都不足集積より益損に
市の中の自然環境として本市比
較的里までい
軽、公團設ちて菜園と子のを果菜園、これ加えて
近郊と編組にされる
五十五所の園地ありすが

「電報局前」にあり、子供
の遊び場「ササ」のいふ
遊水地あり、次代に
過去、現代から、

女子供健全育成を旨と市
民に奨め、いたる取り
又ふした



